

もりおか復興応援フリーマガジン

Stitch

[ステッチ]

vol.02
2011.11

02 支える気持ちをつないでいこう!

今こそはじめようボランティア

04 盛岡市社会福祉協議会 藤澤佳代さん

05 岩手県立大学 復興girls*

06 ボランティアに関する100人アンケート

07 ADBOAT JAPAN

初めてでも! 一人でも!

「盛岡市かわいキャンプ」活用ガイド

09 日帰りボランティア体験レポート

10 「避難者のみなさまへ」生活支援情報

11 「避難者のみなさまへ」もりおか復興支援センター

12 いしがきMUSIC FESTIVAL 2011 三陸前夜祭レポート

13 買い物で応援しよう!

14 おすすめ宴会ガイド

支える気持ちを つないでいこう！

東日本大震災から8カ月以上がたちました。

被災地では、避難所がその役目を終え閉鎖となり、まちを覆っていたガレキはきれいに寄せられ、自衛隊や全国の警察もそれぞれの「場所」に戻っていきました。

被災地のニュースがトップや一面を飾ることはほとんどなくなり、ボランティアの数もだいぶ少なくなりました。

それは、被災地が復興に向けて歩き出した立ち上がりはじめた、という証。

だけど、まだ「終わり」ではありません。

これからやっと、はじまるのです。

大きく強い力が必要だった時期を過ぎ、今必要なのは、小さくても、ずっと続けていく力。

長い道のりを、ときに寄り添い、ときには少し後ろで歩いてくれる、さりげなく、たしかかな力。

被災地ではまだまだ、たくさんの方の力を必要としています。

今回のstitchは「ボランティア」を特集。被災地が抱える問題も、必要とする支援のかたちも変化しつつある今、ボランティアに求められていることはどんなことなのか。そして、今からボランティアをはじめするには何をしたらいいのかなど、いろんな角度から考えました。

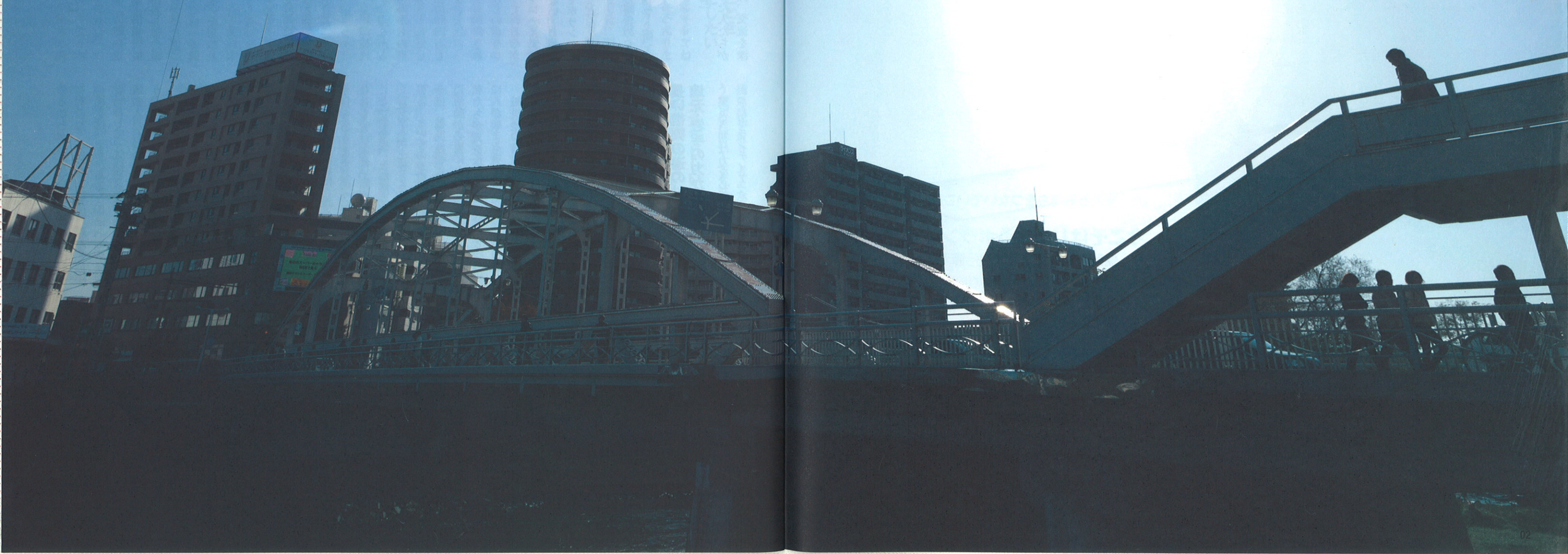
次々と新しいニュースがうまれる日々なかで「あの日」を忘れずに見つめ続け、支え続けていくことは、けっこう難しい。

でも、同じ岩手にいる私たちなら、それができる。

stitchは、そう確信しています。

ひとりひとりの小さな力を集めて、たしかな力に。

「支える気持ち」を届けよう、盛岡から。今こそはじめよう、ボランティア。





岩手県立大学 復興girls*

結成メンバーの2年生9人。最近では1年生も参加し始め、活動を長期的に継続するビジョンが見え始めてきたという。右から3人目がリーダーの野中さん。

みんなで
応援しよう

「何かしたい」
復興ガールズは、リーダー・野中里菜さんのそんなひと言から始まりました。沿岸被災地の惨状を知ること、いまでもたつてもいられないという思いを強くした野中さん。「何かしたい」と口にした思いに、友人たちが共感。「何かしよう」と活動を開始しました。みんなで「復興を支えるためにするべきこと」を模索しているうちに「被災地の企業を元気にしたい」と考えるように。手探り状態の彼女たちは、大学の先生のアドバイスで「盛岡手作り村」の佐々木雷蔵さんに協力を依頼。佐々木さんが紹介してくれた企業や団体と直

思いを声に出すことで、すべてが始まる

「何かしたい」
復興ガールズは、リーダー・野中里菜さんのそんなひと言から始まりました。沿岸被災地の惨状を知ること、いまでもたつてもいられないという思いを強くした野中さん。「何かしたい」と口にした思いに、友人たちが共感。「何かしよう」と活動を開始しました。みんなで「復興を支えるためにするべきこと」を模索しているうちに「被災地の企業を元気にしたい」と考えるように。手探り状態の彼女たちは、大学の先生のアドバイスで「盛岡手作り村」の佐々木雷蔵さんに協力を依頼。佐々木さんが紹介してくれた企業や団体と直

接連絡を取り、考えた企画を見てもらうなどアプローチをはじめました。
自分たちらしいやり方で岩手の漁業をPR
「大船渡産のワカメを販売し、地元の復興を応援したい」
そう考えたのは、大船渡出身の千葉彩加さん。「どうすればふるさととの役に立てるのか」と考えていたとき、野中さんに声をかけられて復興ガールズの一人となりました。
さっそく千葉さんは大船渡の企業に企画を持ち込みますが、震災の影響でワカメを販売する体制が整っていないことを知ります。がっかりする千葉さんに、企業の担当者はこう話したそう。「今年はなにもできないけれど、三陸産のワカメのことを忘れてほしくない」。その言葉に、「岩手の漁業全体をPRしよう」と決めた復興ガールズは、「宮古のワカメ」を自分たちが企画するイベントで販売することに。さらには「消費拡大が漁業の復興につながる」と、ワカメを使った料理のレシピを考え、一カ月間、毎日ウェブサイトで紹介。そんな彼女たちらしいアイデアで、少しでも多く販売につながるよう取り組みました。

支えているつもりが、支えられている

そのワカメを販売したイベントが、9月16・17日に東京でおこなわれた「いわて復興フェア」。彼女たちが企画し、内陸・沿岸の6つの企業・団体の協力を得て開催にこぎつけました。物産を販売するだけでなく、高田松原の松を使っ

次回イベント WAのまちもりおか 森のリースフェスティバル

- 福祉ブランド&岩手県立大学復興girls*チャリティ販売会
- 12月3日(土)、4日(日) 10:30~16:00
- プラザおでって3階会議室
- 人気の高田松原の松を利用したキーホルダー「松光」、田野畑ハックの家の「裂き織コースター」などさまざまなグッズの販売会。

私たちにできることが、まだまだある。

今こそはじめよう ボランティア

ボランティアに
来てほしい

藤澤佳代さん

盛岡市社会福祉協議会 地域福祉課 主事

ボランティア受け入れの担当をしていて、時々被災地のサロンにも顔を出すなど、ボランティア事情に精通している。

今、被災地で必要なのは「心のふれあい」

盛岡市民のボランティア活動をサポートする相談窓口として、情報提供やマッチングなどを行っている「社会福祉法人 盛岡市社会福祉協議会(社協)」が、東日本大震災発生後も、すぐに「盛岡市災害ボランティアセンター」を立ち上げ、県内外からのボランティア受け入れに対応してきました。

「震災後の数ヶ月は、ボランティア対応や情報収集、被災地の社会福祉協議会との連絡や支援に追われる日々。ほんとに嵐のような忙しさでした」
そう当時を振り返るのは、ボランティアの受け入れを担当している藤澤佳代さん。「だけど、半年を過ぎた辺りから落ち着いてきましたね。県外からのボランティアの数もだいぶ減りましたし、要請されるボランティアの活動内容も、震災直後とはかなり変わりました」

ガレキが片付き、避難所も閉鎖された今、ガレキ撤去や炊き出しのボランティアは「いい意味で」減っているそう。でも、だからといって「ボランティアは必要なくなった」わけではない、と藤澤さん。では今現在、被災地でボランティアに求められていることは、どんなことなのでしょう？

「震災当初は力仕事、体力勝負のものが多かったのですが、今はソフト面、つまり心のケアが中心になりつつあります。社協に要請が入るボランティアは『サロン活動』が多いですね」
サロン活動とは、被災した人たちが気軽にしゃべりを楽しみ、交流を深

めることができる場所やきっかけをつくること。ボランティアは、あるときは「聞き役」、またあるときは「ネタ提供者」として、気持ちに寄り添い、その地域の人たちがどうしが打ち解けられるよう、サポートをします。

「被災者の方に『どこから来たの?』と質問されて、そこから話が盛り上がることもあります。岩手県人同士だと共通の話題もあるし、なんとなく方言も理解できるので、お年寄りとも話が通じたり、親近感を持ってもらえたりしますよ」
ただし、被災者の方々と大勢で盛り上がることもあれば、誰も来ない、という日もあります。ボランティアはそんな日も受け入れ「誰も来なくても待つこと」が必要、と藤澤さんは言います。

「外の人が主体となって被災地を引っ張る、というのが震災当初の支援。でも今は、被災地の人たちの歩調に合わせて活動が必要になっています。サロンも、私たちが人を集めるのではなく、自然に人が集まる場所にしなければ」
被災地の自主性を尊重する支援が必要になりつつある今、ボランティアにも被災地の状況や都合に合わせた活動が求められています。「必要ときに必要な支援をする」ことを、速くにいる人に求めることは難しい。だからこそ、同じ岩手に暮らす私たちの力が必要となってくるのではないのでしょうか。

長い復興の道のりには、地元・岩手の力が必要

震災当初は力が必要とする活動が多かったボランティア。今ではサロン活動

などソフト面での活動要請が多くなってきたことから「これなら私でもお手伝いできそう」とボランティアの申し込みをする人も増えているそうです。
「復興には本当に長い時間がかかります。県外からのボランティアが少なくなってきている今、これからはずっと支援を続けていくためには、やっぱり地元・岩手の人たちの力が必要だと思っています。ボランティアに興味がある、やってみてほしいと思っている人は、ぜひ挑戦してみてくださいね」

ボランティアの申し込み、相談を受け付けています

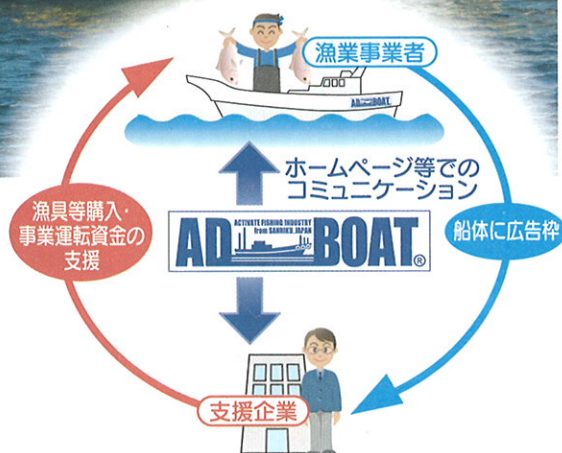
盛岡市社会福祉協議会では、震災関連のボランティア希望者への情報提供やマッチングを行っています。窓口や電話で問い合わせるときは、「震災関連のボランティアをしたい」と伝えるとスムーズ。活動場所や活動内容の希望なども、相談を受け付けています。
希望する活動とのマッチングがうまくいかない場合でも、その活動を受け入れできそうな団体の情報を提供するなどで対応しています。
まずは気軽に問い合わせしてみてくださいね。



盛岡市社会福祉協議会
〒020-0886 岩手県盛岡市若園町2番2号 盛岡市総合福祉センター内
TEL:019-651-1000
FAX:019-622-4999
E-mail: info@morioka-shakyo.or.jp



企業が漁船に出した「広告」が、漁師への支援になる。ダイレクトかつ「見える」支援のカたちを実現したプロジェクト「ADBOAT JAPAN」。立ち上げの中心となった菅原誠さんに、プロジェクトの理念や可能性を伺いました。



た、と振り返ります。

沈み込んでいる大人たちの姿を見て子どもたちが故郷を嫌いになってしまわないだろうか。そうなたら、子どもはここを離れ、ゆくゆくは町がなくなってしまう——。なによりもそのことを心配した菅原さんたちは、「漁師が元氣になれば、町も活氣を取り戻す」と考え、漁師たちが再び漁に出られるよう支援する方法を模索しはじめました。

明日をも見えない日々を送る漁師たちのために、スビーディーな支援をしたい。でも、税金や義援金による支援は手元に届くまでに時間がかかるうえ様々な制約をうけてしまう可能性がある……。これらの問題点をクリアにする……。これらに対応できるのは、企業早くかつ柔軟に対応できるのは、企業による支援である、と考えた菅原さんたち。さらに、支援する側とされる側でお互いに見えていないことに気づきます。顔が見える明白な支援の方法、その答えが、企業ロゴや企業名を船体や大漁旗に載せるといいうり方でした。

企業だけでなく、個人での参加もできる「ADBOAT JAPAN」。支援した船から海産物ギフトが届くなど、支える側にもうれしい特典がいろいろあります。

- 「ADBOAT JAPAN」ホームページでの名前掲載
- 支援船からの海産物ギフト(年1回)
- 「ADBOAT JAPAN」主催イベントへの優待(現地)
- 「ADBOAT JAPAN」ロゴ入りオリジナルグッズ

必要事項を明記の上、メールで申込み。返信メールが届いたら、1週間以内にそのメールに記載してある口座へ参加料金を振込みます。

●個人アドボート参加料金／一口21,000円(税込)※1年間有効

氏名／HPのリストに記載する名前／住所／電話番号／メールアドレス／漁師たちへのメッセージ／その他意見等

「ADBOAT JAPAN」と名付けられた、このプロジェクトの広告掲載期間は1年間。現在18艘の参加が決まっており、10月末には第一艘目の船を出港させました。双方にとってメリットとなる、新しい支援のカタチ「ADBOAT JAPAN」。最低10年は続けられる組織づくりを目指している、という菅原さんは「このプロジェクトにとっていちばんの利益は、漁師さんたちが復興して喜んでくれること」と話してくれました。

プロジェクトに参加した企業は「広告費」を使い、漁師たちの船に社名を入れる。その料金のうち諸費用を除いた分が漁師に渡り、漁業の運転資金に使われます。企業は支援活動を経費として計上できるうえ、「どんな支援をしているか」を明確に示すことができます。一方漁師は、「広告収入」という使い道の自由度が高いお金を手に入れることができます。

「生き生きと働く漁師の姿」を

盛岡市内で靴店を営む菅原誠さんは、震災の発生直後からほかの支援者とともに被災地を回り、支援物資として靴を提供してきました。被災地のほとんどは、漁業を主幹産業とする漁師町。港や船は壊滅的な被害を受け、漁業再開の見通しが立っていませんでした。そんな状況を見るにつけ「本当に必要な支援とは何か」を考え続けていた、と振り返ります。

ボランティアって どう思う？

通りがかりの盛岡の人たち
100人に聞きました！

通りがかりの盛岡の人たち
100人に聞きました!

回答	割合
ある	24.8%
ない	75.2%

「ないと答えた人」の 参加しない理由

時間がない／土地勘がないから
迷惑になりそう／家族・親族
の手助けが優先／足がない／
本当に役にたつ活動かどうか
わからない／どこで募集してい
るかよくわからない

「あると答えた人」のボランティアの種類

食べ物の販売／募金活動／ガレキ撤去／炊き出し／物資提供／駐車場整理／清掃／物資整理／血圧測定／サロン活動 など

Response	Percentage
したい (Want to)	54.8%
したくない (Don't want to)	30.4%
どちらともいえない (Don't know)	14.8%

募金 22人
 心のケア 21人
 がれき撤去 7人

未経験者の半数以上が
ボランティアに肯定的

半数以上がボランティアには参加してみたいと考えています。参加したくないと答えられた方も「時間があれば足を伸ばして直接支援をしてみたい(30代/男性)」「盛岡でできることがあれば(40代/女性)」など条件的に折り合わないから参加できない、できる範囲なら応援したいという意見が多く見られました。

- stitch編集部が盛岡市内にて通行人への聞き取り調査を行い、盛岡市在住者88人を含む岩手県内在住者の回答を集計した。
- 調査場所／盛岡市中心部
- 調査期間／2011年10月11日～21日(計11日間)
- サンプル数／117人(男57女60)
- 年齢構成／20代28人／30代32人／40代25人／その他32人

現地に行つての直接支援は少なくとも丸1日かかります。しかも通常、事前に情報収集、申し込み手続きなどの準備が必要。「各団体の明確な活動内容、募集内容を発信してほしい（20代／男性）」との声も。ボランティアのニーズは刻々と変わつていきます。希望の活動が、参加できる日にあるとは限らず、「したい活動」にこだわる場合は、こまめな情報収集が必要ですね。さらに現状を指摘する意見もありました。

「震災当時は内陸でも生活が不自由で、ボランティアに対して気持ち的に積極的だったが、時間の経過とともに意識が薄れてきたのかもしれない（30代／男性）」

同じ県内に住む私たちが、常に沿岸の復興を意識し続けることがいちばんの支援なのかもしれません。

この震災を忘れずに
長く寄り添うこと

日帰りボランティア体験レポート

かわいいキャンプ

「気軽に参加を!と言われても…」
わからないことが多いとためらいも大きいもの。
そこで、盛岡市かわいキャンプを通じた
一日ボランティア活動をレポートします。

※ボランティアの内容は活動実施日のものです。
その日によって、派遣先、活動内容は異なります。

13:30 午後の活動

リーダーの指示のもと、午後の作業開始です。午前中の進捗を見て、重点ポイントなどが示されることも。

区画の入口や、基礎のまわりなどを重点的にきれいにしました。



15:00 作業終了



作業終了後、ボランティアセンターに戻り、すべての道具を薬液に浸して洗浄、片付けます。送迎バスで盛岡市かわいキャンプへの帰路へ。

宿泊者の夕食調理のため、帰りはスーパーに寄ります。



早川拓樹さん

あつという間の一泊でした。はじめは知らない人がばかりで少し緊張しましたが、移動や作業を通じていろいろな話もできて楽しく過ごしました。今回作業した山田は親戚も住んでいて、小さいころから何度も訪れていた場所。少しでも役に立てていいなと思います。かわいキャンプのボランティアはほんとに県外の人ぞうなので、県内のもっと多くの人に参加してほしいなと思います。

9:30 到着、活動開始!



作業内容の説明をリーダーから受けて活動開始。この日は、基礎だけが残る区画の整備作業の4日目。表面をならす仕上げ作業です。



30分おきに休憩をとります。

12:00 お昼休み

ボランティアセンターに戻ってお昼休み。カップ麺や温かい飲み物にお湯が用意されていました。

沖縄や九州からのボランティアさんもいて、いろいろな話題で楽しく過ごしました。

17:00~17:30 盛岡市かわいキャンプ到着

実働4時間半ほどの活動を終えて、かわいキャンプに到着。解散です。おつかれさまでした。



作業終了後は撮影。みなさんのすがすがしい表情が印象的でした。

~3日前 申し込み

かわいキャンプに電話します。活動内容(がれき撤去、サロン活動など)の希望に応じ、派遣先が決まります。ウェブサイトから申請書をダウンロードし、記入・提出して申し込み完了です。

持ち物や注意点は、気になることは聞いておきましょう。

~前日 保険加入

ボランティア保険の加入は必須。住んでいる地域の社会福祉協議会で加入します。

加入には印鑑が必要です。

7:30 集合、受付



国道106号沿いの盛岡市かわいキャンプに集合。340号と交差する手前、左手に見える学校の建物がかわいキャンプです。到着後は受付を行います。

8:00 オリエンテーション



本日の仲間たちとの顔合わせを兼ね、活動内容の説明を受けます。※派遣先は日にちや活動内容によって異なります。

8:15 出発



盛岡市かわいキャンプから支援場所までは送迎車で移動します。ボランティアリーダーから注意事項の説明があります。

途中でコンビニに寄り、昼食・飲み物を入手。



山田町のボランティアセンターに到着。作業に必要な資材を積み込みます。

活動に必要な道具は各自持って行くのがルール。

盛岡市

ボランティアと被災地をつなぐ拠点

「かわいキャンプ」活用ガイド



1朝のオリエンテーションから活動がはじまります
2活動はその日の依頼によって異なります
3長期滞在や団体ボランティアの人たちは自炊もできます
4活動後、ほっとするひとときです



マッチング(活動の紹介)から送迎まで、沿岸被災地でのボランティア活動を支援する「盛岡市かわいキャンプ」。被災地でのボランティアに興味がある、チャンスがあれば参加したい、という人は、「盛岡市かわいキャンプ」でボランティアデビューをしませんか?

被災地でボランティア活動をしたい! だけど、どこに相談したらいいんだろう?

そんな「意欲はあるのに、何から始めたらいいかわからない」という人に、利用をおすすめするのが「盛岡市かわいキャンプ」。沿岸被災地での長期的なボランティア活動を支援するため、盛岡市が設置した施設です。

「盛岡市かわいキャンプ」の主な機能は①ボランティアの受け入れ、②被災地のボランティアニーズとのマッチング、③被災地(活動場所)への送迎、の3つ。ボランティア希望者にとってハードルになりがちな「どこに相談すればいいかわからない」「どんな活動をしてほしいのかかわからない」「被災地へ自力で行くのがむずかしい」という問題を一度に解決し、スムーズに活動できるようサポートしています。また、活動の前にオリエンテーションを行い、作業内容の説明や参加者同士の顔合わせをするので、ボランティアは初めて、1人でも参加したい、という人でも安心です。

現在、「盛岡市かわいキャンプ」に求められているボランティア活動は、被災地の人たちとおしゃべりなどで交流する「ふれあいサロン」のお手伝い、がれき

DATA

- 宮古市川井1-60-3
- ☎0193-76-2005
- FAX 0193-76-2231
- (受付は午前9時~午後6時まで)
- e-mail: kawai-camp@chna.ne.jp
- http://www.morioka-shakyo.or.jp/
- 利用料/無料
- 休み/年末年始
- 駐車場/60台
- 交通
- 【自動車】盛岡から約60km(約1時間30分)
- 【バス】盛岡駅前、盛岡バスセンターから106急行利用。上川井停留所下車(約1時間30分)
- 【鉄道】JR盛岡駅から山田線利用。陸中川井駅下車(約1時間30分)

「盛岡市かわいキャンプ」機能と設備

- 被災地のボランティアニーズとのマッチング(活動の紹介)
- 沿岸被災地までの送迎車両の運行
- 寝泊まりができるスペースの提供
- 仮設シャワー、洗濯機、調理室

参加対象者

沿岸被災地でボランティア活動を希望する個人および団体(高校生以上)
※高校生は親権者の同意が必要です。

撤去、写真洗いや作業など。その日にできる活動は被災地から求められている活動次第ですが、「こんなことをしたい」「これならできる」など希望のある人は、受付時に伝えることもできます。

「盛岡市かわいキャンプ」は宿泊設備を無料で利用でき、ここを拠点に数日、数週間単位でボランティア活動をする人もいますが、朝8時からのオリエンテーションに参加できる人なら、日帰りも大歓迎。盛岡から「盛岡市かわいキャンプ」までは車で約1時間20分。バス利用の場合は、5時45分盛岡駅発の「106急行(岩手県北バス)」に乗れば間に合います。被災地でのボランティア、やってみたい、興味がある、という人は、「盛岡市かわいキャンプ」でその一歩を踏み出しましょう。

もりおか復興支援センターに行ってみよう!



全国から支援物資として届いたタオルと裁縫道具を使い、被災者のみなさんがつくる「復興ぞうきん活動」。その参加者が週

「秋・冬物の衣料が豊富に揃う」「物資受け渡しコーナー」



人、情報、モノが集まる「もりおか復興支援センター」。その2階には、衣料品を中心とした物資の受け渡しコーナーが設置されています。



正面玄関から入り、左奥にある階段を昇って2階へ。入り口でもらう用紙に名前、住所を記入し、簡単なアンケート項目に答えたら、あとは必要なもの、



市周辺に居住している被災者の



みなさん。毎週水曜日に集まり、家で縫ってきたぞうきんを納品しながら、自由に会話を楽しまします。「外に出て誰かと話すと気持ちの軽くなる」と、みなさん週に一度のこの日を楽しみにしている様子。また、「縫い物に夢中になると、辛い気持ちが紛れる」という声も。



もりおか復興支援センター
019-654-3521
盛岡市内丸3-46 旧農林中央金庫ビル
●開館時間/10:00~19:00
●休館日/月曜日(月曜が祝日の場合は、火曜日休館)、年末年始
●FAX 019-654-3524 ●アクセス/県庁・市役所バス下車 徒歩2分 ●駐車場なし

欲しいものを選ぶだけ。持ち帰り用に大きめのバッグ等を持参すると便利です。

お茶つこ飲み会
ちびっこからお年寄りまで、わいわいがやがや「お茶つこ飲み会」
お茶やおやつと一緒に、おしゃべりを楽しむ。毎週水曜日の「お茶つこ飲み会」。ちびっこからお年寄りまで、みんながわいわい集まって、日々の暮らしのこと、これから先のこと、不安に思うことなど、自由にお話しませんか。被災者の方はもちろん、被災者を支援する方も参加OK。県外からの参加も大歓迎です。
●開催日時/毎週水曜日の10時30分~11時30分
●テーマ/11月24日(木)、12月6日(火)「千支の展」

折り紙サロン
季節感あふれる「折り紙アート」に挑戦!
クリスマスや正月など、折り紙で季節感を味わいませんか? 講師の和紙作家・丹野恵美子さんは、海外でもワークショップを開催するなど、広く活躍している折り紙のベテランリスト。和やかな雰囲気、折り紙アートに挑戦しましょう。

生活支援情報

冬対策は万全に

盛岡市は沿岸地域に比べて雪が積もりやすく、最高気温が零度以下の真冬日も多くあります。冬対策はしっかり行いましょう。

水道管の凍結予防【水抜き】

水抜き栓は冬場の凍結を防止するためのもので、バルブを開めることにより給水管内の水を抜くことができます。同時に水が止まります。

水抜きをするタイミング

- 朝の気温がマイナスが予想される前夜
- 日中が真冬日のとき
- 正月などで2、3日家を空ける場合

水抜き栓操作方法

- 1 水を抜く時
蛇口を一杯に開け水を出す。水抜き栓のバルブをしっかり閉める
- 2 水を抜いた後
蛇口は開いたままにしておく
- 3 水を使う時
水抜き栓のバルブを一杯に開ける

※詳しい操作方は、盛岡市上下水道局ホームページ
(<http://www.morioka-water.jp/general/mizunuki.html>)をご参照ください

雪かき・雪おろし

大雪になると駐車スペースの雪かきや屋根の雪下ろしが必要です。雪かきは、落ちてくる雪や足元に注意して行います。また、道路など通行の邪魔になる場所には捨てず、私有地や集積場所に集めるようにしましょう。



道具 ●スコップ
●雪はね(雪かきスコップ)

服装 ●長靴 ●上下ヤッケなど濡れないもの
●手袋 ●帽子

ポイント

- 積もった雪が重くなる前に、こまめに行う
- 汗をかくことも多いので体が冷えないように注意
- 腰を痛めないように、分けて行う

その他冬対策

クルマのタイヤ交換

気温の低い日の道路は、雪がなくても凍りやすく滑ります。スタッドレスタイヤへの履き替えはお早めに。

防寒対策は万全に

盛岡の冬は、想像以上に冷え込む場合があります。十分な防寒対策が必要です。

被災された方へ

所得税の還付手続きをしよう!

東日本大震災により住宅や家財、自動車などに損害を受けた場合、雑損控除等の適用により平成22年分にさかのぼって、所得税の還付や軽減を受られます。まずはお電話を!

●手続きの流れ

- 1 最寄りの税務署に電話
- 2 申告の要否、必要書類の確認等
- 3 税務署等で個別相談、申告書等の提出
- 4 所得税等の還付や軽減

盛岡税務署

019-622-6141 (案内に従い0番を選択)
●盛岡市本町3丁目8-37
●<http://www.nta.go.jp/sendai/guide/zeimusho/iwate/morioka/index.htm>

こんなときも相談してください!

- 住宅や家財の被害額が分からない
- 震災で必要な書類をなくした
- 自動車が津波で流された など

困ったなと感じたら、まずは相談してみよう!

盛岡市消費生活センター

借金でお悩みではありませんか?
震災によって抱えた多重債務などのご相談もご連絡ください。※相談無料・秘密厳守
019-624-4111
●受付時間/9:00~16:00(休/土日祝)
●住所/盛岡市青町2-29 青町分庁舎2階
●<http://www.city.morioka.iwate.jp/04simin/syohi/epron/>

ゆいっこ

雪かきお手伝いします
内陸部に避難し、除雪作業に慣れていない方のお手伝いをします。
090-9742-2580 (担当:吉田)
●メール/morioka@yuicco.com
●住所/盛岡市本宮5丁目10-20-120
●<http://yuicco.com>

東日本大震災司法書士無料電話相談

各種手続きなどのご相談
ローンの返済や相続の手続きなど、震災によるさまざまな相談に対応。
0120-823-815
●受付時間/月曜~金曜10:00~13:00
●<http://iwate-shihoshokai.jp>

公益財団法人 岩手県国際交流協会

外国人を対象とした各種相談
各国外国語対応あり、外国人のための相談窓口。ご本人でも知り合いに外国人がいらっしゃる方でも対応。
019-654-8900
●受付時間/9:00~21:30 ※時間帯によっては対応できない言語もあります。
●住所/盛岡市盛岡駅西通1-7-1 アイーナ5F
●<http://iwate-ia.or.jp> (外国人を対象とした各種相談)

東日本大震災 子どもの学び支援ポータルサイト

支援の要請と提案をマッチング
「暖房が必要」など各被災学校からの要望と、各団体が提案する支援を紹介しています。被災地から支援の要請もできます。
080-2071-1688
●受付時間/9:30~19:00(休/土日祝)
●<http://manabishien.mext.go.jp>
●メール/HPのお問い合わせフォームから

震災行政相談専用フリーダイヤル

どこに相談したらいいか迷ったら
地震による被災について「どんな支援策があるの?」「困っていること相談先がわからない」などの相談を受け付けています。
0120-711-815
●受付時間/8:30~17:15(休/土日祝)

法務局 震災相談窓口

登記・会社印鑑などのご相談
不動産や会社、船舶の登記。カードの紛失など法務局交付書類などのご相談に対応。
0120-227-746
●受付時間/8:30~17:15(土日祝/9:00~16:00)
●<http://houmukyoku.moj.go.jp/morioka>

岩手弁護士会東日本大震災電話無料相談

被災者限定 弁護士による無料法律相談
東日本大震災で被災した人の法律相談に、弁護士が無料対応。(震災関連に限ります)
0120-755-745
●受付時間/13:00~16:00(月曜~土曜)
●http://www32.ocn.ne.jp/~iwate_ba

買い物で 応援しよう!



松光[まっこう] 1,900円

ドイツのリボス自然健康塗料を塗布して磨き上げて、オイル仕上げを施したキーホルダー。やさしい手触りが特徴で、1本購入ごとに材料費にかかる1,700円を除いた200円が沿岸への支援金として寄付される。岩手県立大学の復興支援グループ「復興Girls」のイベント会場のほか、製作元である「STUDIO S@bo」のホームページから購入できる。

■手作り家具 STUDIO S@bo
TEL 019-651-8527
<http://www.studio-sabo.com/>



瓦re:KEYHOLDER[ガレキーホルダー] 600円

「ネガティブからポジティブな光を被災地へ小さなお仕事を」をスローガンに、瓦礫の中から光る素材を見つけ一つ一つ手作りで作られるキーホルダー。陸前高田市で職を失った方、仮設住宅入居者などが中心となって制作している。陸前高田ボランティアセンターのほか、全国各地の協力店でも取り扱う予定だ。商品1つにつき100円が被災者の直接収入となる。

■株式会社 HANDMADE
TEL 011-375-7779
http://11shokunin.com/blog_g/

被災された方の手作り品や
被災企業の復興グッズを買って復興応援しよう!



大槌刺し子 コースター700円、ふきん1,200円

仮設住宅などで暮らす女性ら約20人が中心となって制作する刺し子。コースターとふきんの2種類で、沿岸を象徴するかもめが描かれている。週に一度、完成した商品を町の集会所に納品し、コースターは300円、ふきんは500円が制作者に支払われる仕組み。カラーも数種類のバリエーションがあり、見た目にもかわいく、手づくりの温もりを感じられる商品となっている。

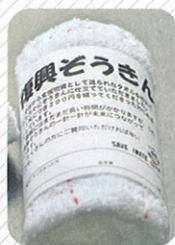
■テラ・ルネッサンス
080-4414-1419(担当:吉野)
<http://osp2011.web.fc2.com>



瓦礫ストラップ 3個セット 2,400円〜

瓦礫を素材にした、釜石や大槌の町の名が入ったストラップ。「和Ring-Project」は6月中旬にスタートし、現在は釜石市甲子町の林業センターなどにプロジェクト関係者や被災された方が集まり作業。商品を手にとることで新しい和が生まれるように、という願いが込められてWEBのほかに釜石シーブラザ内の菊鶴商店などで販売している。

■和Ring-Project
TEL 090-2176-1576(代表:池ノ谷)
釜石市上中島1-1-7
<http://fukkou-ring.shop-pro.jp/>



復興雑巾 300円

盛岡市内丸の「もりおか復興支援センター」に盛岡で生活する被災者有志が集まり、それぞれ思い思いの雑巾を制作。完成した雑巾は、「SAVE IWATE」が1枚200円で買い取り、全国の物産展などで販売。収入はもちろんだが、被災者のコミュニティづくりにも一役買っている取り組みだ。

■SAVE IWATE
tsunugigumi@gmail.com
<http://svi.wate.wordpress.com/>



onagawa fish 1,200円

水産の町・女川のシンボル「魚」をモチーフにしたストラップ。やや大きめなのは、作り手である工藤博さんの「ギュッと握ってもらえるサイズがいい」とのこだわりから。現在は被災された方々が、ヤスリがけや組み立てなどの工程を行い、それぞれの段階に見合った賃金設定で作業。注文に関してはメールでの対応となっている。

■小さな復興プロジェクト
<http://ameblo.jp/small-rebuild-project/>
※注文はブログからのみ対応



ハートのブローチ 840円

被災者の方が作るかわいらしいブローチ。現在、岩手県の大槌市、陸前高田市、宮古市、大槌町、宮城県の大崎市、東松島市の方、約70名女性の方々が制作している。WEBでの販売も行って、商品代金800円のうち50%の400円が生産者の収入となる。

■株式会社 福市
TEL 06-6648-8080
<http://shop.love-sense.jp/>

ラベンダーグッズ 300円〜

「Lavender Windネットワーク」が中心となり、主催者の母校・大船渡高校の同級生とともに制作するラベンダーグッズ。仮設住宅入居者に「音楽とともに花の香りでリラックスしながら、手作りの楽しさにも触れていただきたい」という思いから、製作体験会も実施。首都圏や県内のイベントや店舗で販売され、得られた収益は大船渡市農林課に全額寄付される。

■Lavender Windネットワーク(代表:土井尻)
TEL 090-8497-5997
lavenderwind_net@yahoo.co.jp
http://page.mixi.jp/view_page.pl?page_id=84430



俺たちは祭りの為に生きている それは今でも変わらない

向川原虎舞 中村 光高

加藤清正の虎退治の歌舞伎演目が元となっている「向川原虎舞」。「元々自分たちは祭りの為に生きている。どこにいたって祭りがあればその為に大槌に戻ってくる。この震災で多くの人が亡くなって、仲間も失った。虎舞は祝い事で舞うことが多いけれど、今は死んだ仲間を想って舞を続けたい。そして、見てくれた人を勇気づけるためにいろんな公演に参加したいと思っている」。祭りとともに生きていく事は、世代も天災も越えた、この土地に生きる者の「生き様」なのである。



私たちが会うことで 子供たちに違う視点を

プチミュ! シアター
〜こども劇場〜 高梨 由

被災地域の子供達の元気な姿を見てもらいたい、という目的で結成されたプチミュ! シアター。「今回の練習期間はたった3日なのに、みんな1日でセリフも覚えてくれました。子どもたちの一生懸命さと無限の可能性を伸ばしてあげたいと思うようになりました。私たちが会うことで、今までになかった視点が身について、いろんな夢を持ってもらいたいです。子どもたちは震災で抑えられていたものを解放するかのようになり、ありったけの元気でステージで演技してくれた。



喪失感に打ちのめされて も楽器が触れたかった

大槌高吹奏楽部 金森 元

部員も楽器も無事だったが、震災直後は部活動をやる雰囲気ではなかったという。活動再開のきっかけは1カ月たった頃、生徒から楽器に触りたいという声。「やっと活動ができる喜びや震災を経験したことで、人や楽器への接し方が丁寧になったと感じています。そういう心を通して、演奏する側と聞く側が Win-Win の関係を、演奏者としての喜びを感じられるように成長してほしいです」と金森先生は語った。震災を経験した彼らの演奏は、どこか誇らしげで充実感に満たされていた。

9月24日に行われた、もりおか復興支援センターチャリティー公演誘致事業「いしがき Music Festival 2011 三陸前夜祭」。地元アーティストを含む10組の公演や、地元大槌の方による出店も祭りに

参加。三陸前夜祭は、訪れた人々に大きな感動と元気を与えてくれた。アーティストたちが音楽や芸能を通して、震災や復興へどのようにかかわっていこうとしているのか。出演した4組のアーティストに、その気持ちを伺った。



いしがきミュージックフェスティバル 2011

三陸前夜祭 出演者インタビュー



ただ仕事して終わっちゃう人生じゃなく “楽しい暮らし”を探しながら

RIA + ノリシゲ ノリシゲ

アーティストとして活動しながら大槌に活動拠点を置くノリシゲ。沿岸の今後の課題についての話になった時のこと。「沿岸全体の問題って今仕事がないことだけど、そこに外から新しい人が来て繋がりが生まれれば新しい仕事になる。交流することって刺激的だし、それで日々の感じ方がかわることだってある。そういうことで未来が想像できて大槌で暮らしたいと思う若い人を増やせようと思っている。もちろん自分の人生も刺激のあるものにしていきたいし、自分が楽しむこと一つの復興だから。一人でも多くこういう仕事をしたいと心から思える環境を作りたい」。確かに、今人々が忘れていく絆の再構築が、一番の問題である仕事を生み出すことにもなる。一人ひとりが楽しむことが復興にもつながるという想いを強く感じた。



5th Anniversary MOSS創館祭

12 / 9 (fri) ~ 12 / 25 (sun)

information

- ・スタンプラリー
- ・ミュージックライブ
- ・d-torso 展
- ・パーキングチケットバック
- ・各店創館祭企画

and more...



MOSS
MORIOKA
OODORI
SHOPPING & SCREEN



「スペシャル宴会コース」は
4,000円で飲み放題が時間無制限！
定番料理からアイデア料理まで、豊富なメニュー数を誇る。特に、ひな鳥を炭火でじっくり焼き上げた「新子焼」は、パリッとした皮の食感とジューシーな肉の旨味が楽しめる。宴会プランは、飲み放題の時間が無制限になる。4,000円コースがおすすめ。

予約10名以上の場合、幹事様1名無料もしくは銘酒1本サービス！「ステッチ見た」で生ビールもしくはチューハイ類1杯無料！



宴会プラン
お1人様/3,300円〜(ご予約は4名様より)
※料理8品一例/新子焼、タラ菊の天ぷら、いかふわたキムチ鍋、牛じゃや焼など
※3時間飲み放題付/ビール、日本酒、焼酎、チューハイ他

スペシャル宴会プラン
お1人様/4,000円〜(ご予約は4名様より)
※料理6品一例/新子焼、タラ菊の天ぷら、いかふわたキムチ鍋、牛じゃや焼など
※時間無制限飲み放題付/ビール、日本酒、焼酎、チューハイ他



炭火焼・居酒屋
やまざき

●住所/盛岡市中央通1-11-7 笹川ビル1F ●TEL 019-625-7203
●営業時間/18:00~朝4:00 ●定休日/日曜 ●席数/44席
●個室数/1部屋 ●駐車場/なし



宴会コースは
人気の地ビールが飲み放題！
盛岡の地ビール「ベアレン醸造」の直営レストラン。宴会コースは、ベアレンビールを含むドリンク飲み放題、料理5品付きで3,500円から楽しめる。



BEER PUB BAEREN材木町

●住所/盛岡市材木町7-31
●TEL 019-626-2771
●営業時間/17:00~23:00
●定休日/火曜
●席数/40席
●駐車場/なし



地ビールからインポートビールまで
充実のラインナップ
ベアレン直送樽生ビールの他、世界各国のビールも豊富。「材木町」同様、宴会コースはベアレンビールを含むドリンク飲み放題、料理5品付きで3,500円から楽しめる。



BEER PUB BAEREN中ノ橋

●住所/盛岡市中ノ橋通1-1-21
●TEL 019-651-6555
●営業時間/17:00~24:00
●定休日/日祝(連休の場合は最終日)
●席数/30席
●駐車場/なし

「ステッチ Vol.2」設置店

おすすめ宴会ガイド

ステッチ編集部からVol.2設置のお願いにご協力をいただいた飲食店を紹介。募金箱を置いたり、復興支援に頑張っているお店を掲載しています。飲んで、食べて、楽しんで、そして復興支援にちょっとのお気持ちをくださればうれしいです。みんなで復興を応援しよう！



岩手の少年サッカー応援してます！
いろいろ使えるパーティー空間
店内はこだわりの空間創りで様々なパーティーに対応。飲み放題は勿論生ビール込みの料理5品付き(人3,000円から)料理別1,500円。貸切もOK。



酒shumolekitchen deco [デコ]

●住所/盛岡市菜園1-12-16 アーヴァースビルB1F
●TEL 019-623-8977
●営業時間/18:00~深3:00
●定休日/不定
●席数/30席
●駐車場/なし

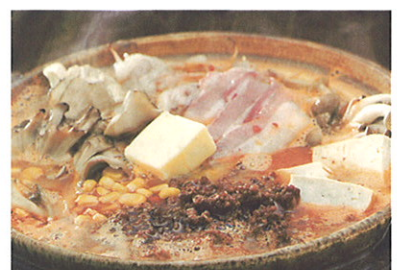


シックな空間で
季節の味覚を楽しむ
旬の県産食材を使い、素材本来の味わいを引き出した料理が楽しめるダイニング。宴会コースは人気の「土鍋ご飯」が付いて1人4,000円。

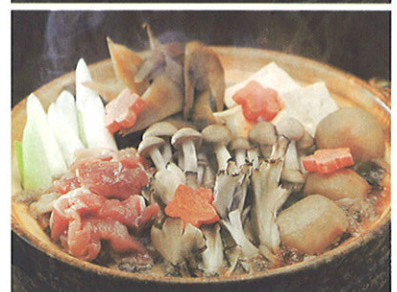


美蘭旬彩 匠の [たぐみの]

●住所/盛岡市大通1-11-4
●TEL 019-652-1804
●営業時間/18:00~深0:00 (23:30LO)
●定休日/日曜
●席数/40席
●駐車場/なし



ゆったりとした空間で
鍋を囲って語らう宴会
盛岡城跡公園下、教育会館裏の「TEN」落着きある大人の隠れ家として人気のお店。宴会コースは「辛みそ担々鍋」と、「いものこ鍋」の2種類。違った宴会を演出してみよう。



お鍋が楽しめるTENの宴会プランは、3,500円コースなら2時間飲み放題付き。4,000円コースではなんと3時間飲み放題付きなので、ゆっくりと厳選されたお酒を楽しむことができます。

プラン1
お1人様/4,000円
[ご予約は4名様より]
※料理8品(お鍋は「辛みそ担々鍋」「いものこ鍋」から選べます。他8品)
※3時間飲み放題付/生ビール、日本酒、カクテル、各種

プラン2
お1人様/3,500円
[ご予約は4名様より]
※料理8品(お鍋は「辛みそ担々鍋」「いものこ鍋」から選べます。他7品)
※2時間飲み放題付/生ビール、日本酒、カクテル、各種

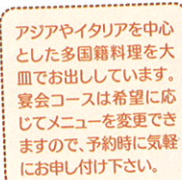


TEN [てん]

●住所/盛岡市菜園1-4-1 地下1階
●TEL 019-656-9696
●営業時間/17:30~翌1:00 (深0:00L.O.)
●定休日/月曜(連休の場合は最終日)
●席数/約40席
●駐車場/なし
URL/ <http://a-iwate.com/shops/32336>



ここでしか味わえない
クラフトビールが全種飲み放題！
酒蔵「あさ開」直営の多国籍料理レストラン。宴会プランでは、「スラビルス」や「ホワイトステラ」など、造りたてのクラフトビール1日1組限定の貸切がおすすめ。



忘年会プラン
お1人様/3,500円〜(ご予約は4名様より)
※料理7品一例/ベトナム風生春巻き、中華風サラダ、フィッシュ&チップス、牛肉のビール煮、カルボナーラ、チーズ入りライスコロッケ、パプリコのスパゲティ、ジェラートの盛合わせ
※2時間飲み放題付/クラフトビール、日本酒、ワイン、焼酎、カクテル、ソフトドリンク



多国籍料理 Stella Monte [ステラモンテ]

●住所/盛岡市大慈寺町10-34 ●TEL 019-624-7206
●営業時間/11:30~15:00 (14:00L.O.)、17:30~22:00 (21:00L.O.)
●定休日/年末年始
●席数/80席 ●個室数/1部屋 (20~40名)
●駐車場/30台
URL/ <http://asabiraki-net.jp/>

お詫びと訂正

Stitch 第2号ページに間違いがございましたことを、謹んでお詫びさせていただくとともに、下記のように訂正をさせていただきます。

訂正箇所

12 ページ

「誤」 「大槌高吹奏楽部 金森 元」

「訂正」 「大槌高吹奏楽部 金丸 元」

以上

平成 23 年 11 月 25 日
もりおか復興支援センター 復興推進広報事業

東日本震災
復興支援
定期預金

明日の岩手へ！

2011.3.11
震災復興

〈スプレーマム〉花言葉：清らかな愛、逆境の中で元気

みんなでできる津波、震災遺児・孤児の支援。

みなさまの熱い想いを「いわての学び希望基金」へ寄付させていただきます

お取り扱い期間 平成23年12月1日(木)～平成24年1月31日(火)

平成24年1月31日時点での本定期預金残高の0.05%相当額を、当金庫が「いわての学び希望基金」へ寄付させていただきます。(お客様の負担はございません)

預入期間

1年もの
預入時の店頭表示金利に
年0.10%
上乘せ!
(税引き後年0.08%)

たとえば…

本定期預金に100万円をお預け頂き、店頭表示金利が0.025%の場合、1年間でお受け取りになる利息は、

①税引き前のお利息

1,000,000円×(0.025%+0.10%)=1,250円

②税金

{1,250円×15%(国税)} + {1,250円×5%(地方税)} = 250円

③税引き後のお利息

1,250円 - 250円 = 1,000円

- ◆お預け入れ金額／10万円以上(新規のお預け入れに限ります)
- ◆金利／預入時の店頭表示金利に年0.10%(税引き後年0.08%)上乘せ
- ◆お預け入れ期間／1年・自動継続 ◆対象／個人および法人のお客様

定期預金に関する注意事項

●ご利用いただける方：個人・法人のお客様 ●対象商品：スーパー定期・大口定期※自動継続のみのお取り扱いとなります。(満期日までに継続を停止する申出がない場合には、満期日に当初お預け入れ時と同じお預け入れ期間で自動的に書替継続致します。) ●お預け入れ金額：1口座10万円以上※10万円以上の新規お預け入れに限ります。 ●お預け入れ期間：1年 ●適用金利(特別金利)：店頭表示金利+0.10%※当初の1年間のみ適用となり、その後は満期時点における1年ものの定期預金店頭表示金利となります。 ※店頭表示金利については、店頭の金利表示ボードもしくは当金庫ホームページにてご確認ください。 ※中途解約：満期日前に解約された場合は、当金庫所定の中途解約利率が適用されます。 ※満期日以降のお利息は、解約日または書替継続をした日における普通預金利率により計算します。 ●本定期預金は、預金保険制度の対象商品です。 ●金利情勢の変動等により、取扱期間内であってもお取扱いを終了させていただく場合がありますので、お早めにお申込み下さい。



“あなたのそばに もっと身近に”
盛岡信用金庫

<http://www.morishin.co.jp/>

平成23年12月1日現在

※詳しくは、当金庫本店・支店窓口または渉外係にお気軽におたずね下さい。また、店頭に「説明書」をご用意しております。

発行日：2011年11月25日発行 発行／もりおか復興支援センター 盛岡市内丸3-46 TEL 019-654-3821(総合) 019-654-2502(復興推進広報事業)
企画・編集／株式会社ラオカもりおか / ラオカ / 冬宮幸治(編集集団 志穂) 印刷／山口印刷株式会社 Special Thanks / 取材・制作に協力いただいた皆様

※印刷・複製・転載・再発行など本誌作成に協力いただいた皆様には、厚く御礼申し上げます。 ※掲載されている情報は、平成23年11月10日現在のものです。 ※発行の掲載状況につきましては、お電話でご確認ください。 ※このラオカは、盛岡市の復興推進広報事業に協力させていただきます。 ※無断複製禁止